

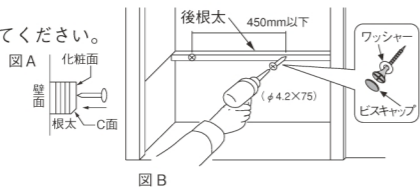
施工手順 <1~2は棚板・枕棚板共通>

1 後根太の取り付け

1.水準線に合わせて、同梱のビスで後根太を取り付けてください。

注意

- ビスの間隔は450mm以下にしてください。
- 後根太を必ず先に取り付けてください。
- 根太は図Aのような方向で壁に取り付けて下さい。



2 棚板・枕棚板の切断

1.押入寸法に対し「幅マイナス4mm、奥行きマイナス3mm」を目安に切断してください。製品に貼付の「ご注意シール」が残るように切断してください。



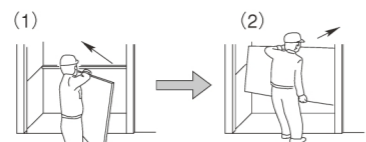
(棚板→Aへ 枕棚板→Bへ)

幅：-4mm 奥行き：-3mmに切断

A <棚板>

3 棚板の設置<柱がある場合>

- 右図の(1)(2)の手順で棚板を納めてください。
- 棚板を後根太にのせ、右図(3)のように支え柱等で水準線に合わせて仮固定してください。
- 棚板の前框部を75mm以上の釘またはビス(現場手配)を2本以上使用し、右図(4)のように柱に固定してください。
- 右図(5)のように、横根太を同梱のビスで取り付けてください。



警告

- 棚板を納める際は落下等の危険のないよう行ってください。
- 枠を柱に固定しないと強度不足で棚板が破損する恐れがあります。

注意

- 横根太取り付けのビス間隔は、450mm以下にしてください。
- 根太は図Aのような方向で壁に取り付けて下さい。

棚板の設置<柱がない場合>

- 水準線に合わせて横根太を取り付けてください。(右図(5))
- 右図(1)(2)を参考に、横根太と後根太に棚板をのせてください。
- 右図(6)のように、同梱のL金具を使用し、棚板の前框と横根太を固定してください。

警告

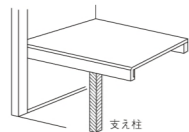
- 棚板の前框部と横根太は、同梱のL金具で確実に固定してください。

注意

- 横根太の取り付けビス間隔は450mm以下にしてください。
- 根太は図Aのような方向で壁に取り付けて下さい。

<<9尺間の場合>>

支え柱を右図のように取り付けください。

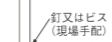


警告

- 支え柱の取り付け位置は中央から左右450mm以下としてください。

※支え柱取付け範囲

中央から左右450mm以下



# 取扱説明書

お施主様に必ずお渡しください

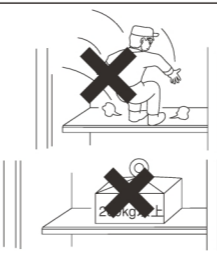
## 安全上のご注意

棚板に乗ったり、ぶら下がったり、飛び乗ったりしないでください。けがや破損の原因となります。

無理な力をかけないでください。変形や破損の原因となり、けがをする恐れがあります。

**耐荷重** 棚板：200kg以内、枕棚板：70kg以内  
(集中荷重は避けてください)

自分で分解や修理、改造はしないでください。  
・修理・メンテナンスは購入された工務店や販売店にご相談ください。



### 商品の保証について

商品保証とは、保証期間、保証内容の範囲において故障が発生した場合に、無料で修理をお約束するものです。詳しくは、下記内容をご参照ください。

■対象商品  
押入棚板・押入枕棚板セット

■保証期間  
施工完了後2年とさせていただきます。弊社商品の引渡完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としています。保証期間経過後の修理については有料となります。

■製品の不具合原因が次のような場合には、保証期間内であっても保証対象外になります。

- ①建物の設計・施工に起因する不具合
- ②施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合
- ③自然現象・周辺環境等(※1)の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れ又はその他の不具合
- ④室内であっても部屋内外の温湿度差が著しく違う部位に取り付けられたことによる隙間・反り・キンミ音などの不具合。

- ⑤極端に乾湿を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位に取り付けられたことに起因する不具合
  - ⑥建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合
  - ⑦入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する不具合
  - ⑧取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、磨耗、破損、変形などによる不具合
  - ⑨経時変化による通常一般的な当該保証対象品の変色、汚れ、さび、かび、劣化磨耗などの不具合
  - ⑩用途外に使用された場合の故障および損害(例えば、一般家庭用を業務用に、屋内用を屋外に使用された場合等)
  - ⑪犬・猫・鳥・鼠などの小動物の害に起因する不具合やキクイムシなどの虫害に起因する不具合
  - ⑫仕上げ面のキズなどの不具合で引渡し時に申し入れがなかった場合
  - ⑬保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合
  - ⑭製造時に実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する場合
  - ⑮離島などの遠隔地へ出張を要する修理を行う場合、出張に要する実費
  - ⑯その他当該不具合の発生が弊社の責にやらない場合
- ※1：火災・地震・水害・落雷などの天災地変や、公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

### ユーザー登録サービス

このたびは DAIKEN 製品をお求めいただき誠にありがとうございます。製品を未永く安全にご愛用していただくために、ユーザー登録をお願いいたします。ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報をDAIKEN からご連絡する際に、ご利用させていただきます。

ユーザー登録は無料です!!

登録はこちらから  
<https://www.daiken.jp/qr/user/>



### 製品に関するお問い合わせ

DAIKENお客様センター  
☎0120-787-505  
(フリーダイヤル)

メールで写真も送ることができます。

●受付時間…平日9:00~17:00  
(土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいております)

<https://www.daiken.jp/qr/form01/>



### 修理・交換部品のご購入の方は

DAIKENパーツショップ  
部品のネット販売サイトです。

※購入に際しては登録が必要です。  
<https://www.daiken.jp/qr/service/>

▶▶▶▶ DAIKENホームページ ▶▶▶▶ お客さまサポート ▶▶▶▶  
▶▶▶▶ DAIKENパーツショップ ▶▶▶▶



### DAIKEN株式会社

DAIKENのホームページアドレス <https://www.daiken.jp/>

# DAIKEN

## 押入棚板セット 押入枕棚板セット

施工説明書

施工業者様用

P1~P5

取扱説明書

お施主様用

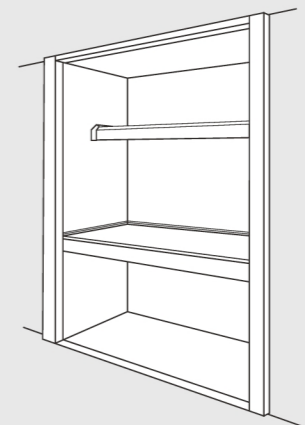
P6

「施工業者様へのお願い」

●弊社では、お施主様が製品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項やお手入れ方法などの重要な内容を記載した「取扱説明書」を添付しております。必ず、お施主様に手渡しいただきますようお願いいたします。

※取扱説明書は下記のURLからダウンロードできます。

<https://www.daiken.jp/qr/manual/>



## 施工説明書

施工業者様用

※この商品は一般住宅およびそれに準じる居住施設の屋内専用です。他の用途へのご使用はおやめください。屋外および浴室内部など頻繁に水分と接するところには使用しないでください。

- 施工開始前に必ずお読みください。
- 施工者の安全と使用者の安全確保のために、この施工説明書をよくお読みになり、安全で正しい施工を行ってください。
- 梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してください。
- この冊子は必ずお施主様にお渡しください。巻末が取扱説明書になっています。(取扱説明書は弊社HP <https://www.daiken.jp/>よりダウンロードも可能です)

### 危険の定義とシンボルマーク

この説明書では、「注意事項」を以下のような定義で使用しています。

警告

取扱を誤った場合、施工者または使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合

注意

取扱を誤った場合、施工者または使用者が障害を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される場合

警告

- ・取り付け位置には十分な下地を準備してください。十分な下地の無い所に施工されますと、脱落等によりケガをする恐れがあります。
- ・壁への固定は、同梱のビスで正しい位置に確実におこなってください。
- ・棚板に座ったり、飛び乗ったり、ぶら下がったり、体重をかけるしないでください。落下、破損等によりケガをする恐れがあります。

注意

- ・立てかけ保管はしないでください。保管する時は水平な場所に平積みしてください。
- ・水・湿気に注意してください。製品が濡れるとふくれや変形の原因となります。
- ・高温となる場所に置かないでください。反りや変形の原因となり、正しく施工できなくなる恐れがあります。
- ・棚板は一般住宅内専用の製品です。屋外には使用しないでください。
- ・改造はしないでください。製品の強度が失われる恐れがあります。
- ・ビスの締め付け不足、またはビスの締め過ぎによる空回りの状態に注意してください。製品が外れて、けがや破損のおそれがあります。

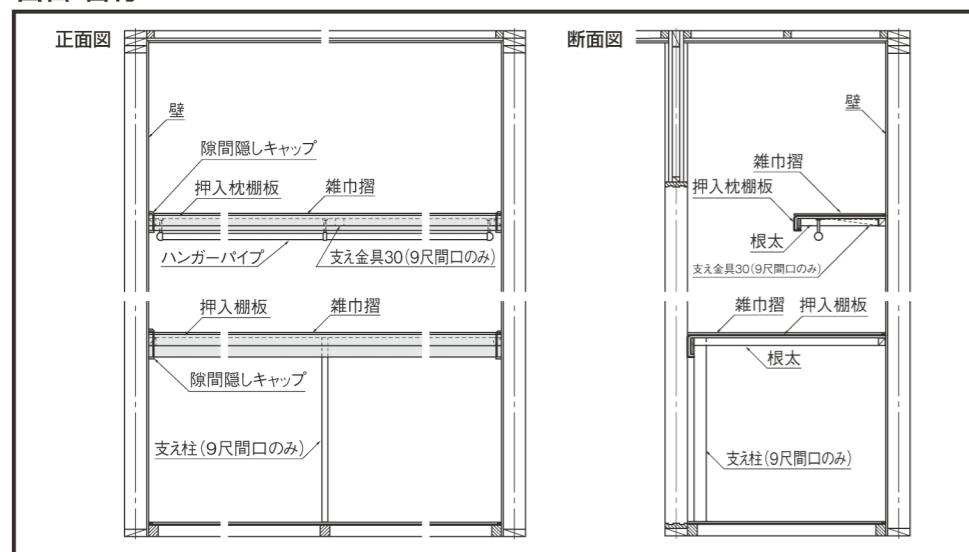
DAIKEN株式会社

# 施工説明書

## 同梱部材リスト

部材・部品名	間口	間口×奥行×幅高×厚み	同梱部品								
			棚板本体	根太	雑巾摺	隙間部材	ビスセット	L金具	支え柱	支え金具	
押入棚板セット	3尺間口 尺モジュール	900×810×90×t12	1枚	後1、横2	後1、横2	左右各1	1袋	2個			
	4.5尺間口 尺モジュール	1350×810×90×t12	1枚	後1、横2	後1、横2	左右各1	1袋	2個			
	6尺間口 尺モジュール	1810×810×90×t12	1枚	後1、横2	後1、横2	左右各1	1袋	2個			
	9尺間口 尺モジュール	2700×810×90×t15	1枚	後1、横2	後1、横2	左右各1	1袋	2個	1本		
押入枕棚板セット	3尺間口 尺モジュール	900×375×60×t12	1枚	後1、横2	後1、横2	左右各1	1袋	2個			
	4.5尺間口 尺モジュール	1350×375×60×t12	1枚	後1、横2	後1、横2	左右各1	1袋	2個			
	6尺間口 尺モジュール	1810×375×60×t12	1枚	後1、横2	後1、横2	左右各1	1袋	2個			
	9尺間口 尺モジュール	2700×375×60×t15	1枚	後1、横2	後1、横2	左右各1	1袋	2個		1個	

## 各部名称

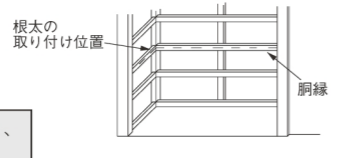


## 施工前の準備

### 1 下地の施工

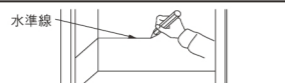
1. 根太の取り付け位置に胴縁を取り付けてください。
2. 壁を仕上げてください。

**警告** 棚板の荷重は壁で支えます。下地が充分でないと、落下・脱落等でケガをする恐れがあります。



### 2 水準線を引く

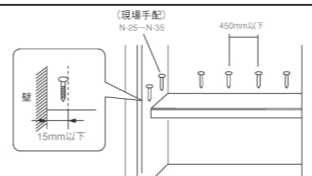
1. 根太の取り付け位置に水準線を引いてください。



### 4 棚板を固定

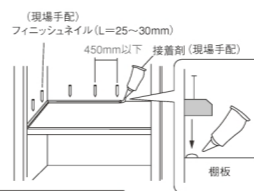
1. 右図を参考に、棚板と根太を固定してください。

**注意** 〇 ビス(現場手配)の間隔は450mm以下にしてください。



### 5 雑巾摺の取り付け

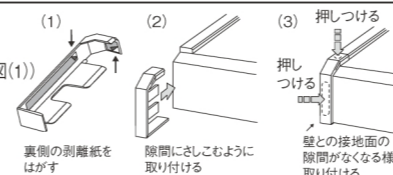
1. 右図を参考に、取り付け位置に樹脂部品に対応した酢ビ系接着剤を塗布してください。
2. フィニッシュネイル(L=25~30mm)を用いて、隙間、ビスを隠すように雑巾摺を取り付けてください。



**注意** 〇 フィニッシュネイル(現場手配)の頭が飛び出さないように施工してください。

### 6 隙間隠し部材の取り付け

1. 隙間隠し部材裏面の両面テープの剥離紙をはがしてください。(右図(1))
2. 棚板前框と壁の間の隙間を隠すように部材を壁に接した状態で取り付けてください。(右図(2))
3. 右図(3)の点線の箇所を押しつけ、固定してください。



### 7 施工終了後の清掃、養生

1. ホウキ、固くしぼった雑巾等で掃除してください。
2. 梱包用ダンボールなどを用いて養生してください。

**注意** 〇 シナー等の溶剤は使用しないでください。  
〇 ササクレ・ビス等の飛び出しがないか確認してください。



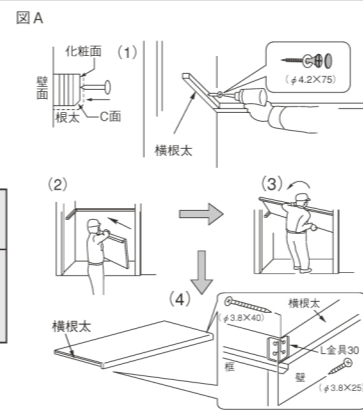
## B <枕棚板>

### 3 枕棚板の設置

1. 水準線に合わせて横根太を取り付けてください。(右図(1))
2. 右図(2)(3)を参考に、横根太と後根太に枕棚板をのせてください。
3. 右図(4)のように、同梱のL金具を使用し、枕棚板の前框と横根太を固定してください。

**警告** 〇 棚板の前框と横根太は、同梱のL金具で確実に固定してください。

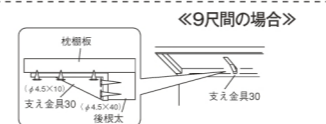
**注意** 〇 横根太の取り付けビス間隔は450mm以下にしてください。  
〇 根太は図Aのような方向で壁に取り付けて下さい。



### <<9尺間の場合>>

1. 右図のように、枕棚板の下面に合わせて支え金具を取り付けてください。

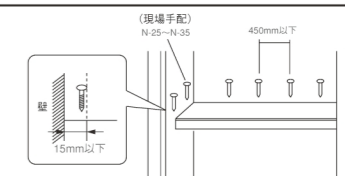
**注意** 〇 必ず後根太の中央に取り付けてください。



### 4 枕棚板を固定

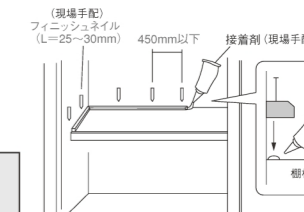
1. 右図を参考に、枕棚板と根太を固定してください。

**注意** 〇 ビス(現場手配)の間隔は450mm以下にしてください。



### 5 雑巾摺の取り付け

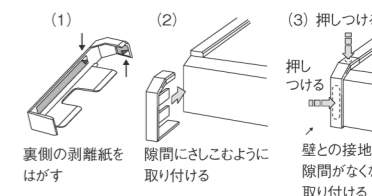
1. 右図を参考に、取り付け位置に樹脂部品に対応した酢ビ系接着剤(現場手配)を塗布してください。
2. フィニッシュネイル(L=25~30mm)を用いて、隙間、ビスを隠すように雑巾摺を取り付けてください。



**注意** 〇 フィニッシュネイル(現場手配)の頭が飛び出さないように施工してください。

### 6 隙間隠し部材の取り付け

1. 隙間隠し部材裏面の両面テープの剥離紙をはがしてください。(右図(1))
2. 棚板前框と壁の間の隙間を隠すように部材を壁に接した状態で取り付けてください。(右図(2))
3. 右図(3)の点線の箇所を押しつけ、固定してください。



### 7 施工終了後の清掃、養生

1. ホウキ、固くしぼった雑巾等で掃除してください。
2. 梱包用ダンボールなどを用いて養生してください。

**注意** 〇 シナー等の溶剤は使用しないでください。  
〇 ササクレ・ビス等の飛び出しがないか確認してください。

